

県保健医療計画における数値目標と奄美圏域の現状(5疾病について)【令和5年度】

県保健医療計画の目標項目・現状

1 がんに関する目標

県保健医療計画の目標項目	県		
	計画策定時の値	現状値	目標値(達成時期)
①75歳未満のがんによる年齢調整死亡率	男性 100.7 (H27年) 女性 59.6 (H27年)	86.2 (R3年) 52.1 (R3年)	80.6以下 (R11年) 47.7以下 (R11年)
②がん検診受診率	出典:国民生活基礎調査		
	胃	42.2% (H28年)	40.6% (R4年)
	肺	54.0% (H28年)	51.4% (R4年)
	大腸	41.2% (H28年)	44.0% (R4年)
	子宮	46.6% (H28年)	47.5% (R4年)
	乳	49.6% (H28年)	49.8% (R4年)

2 脳卒中に関する目標

県保健医療計画の目標項目	県		
	計画策定時の値	現状値	目標値(達成時期)
①40～74歳の高血圧症有病者数(予備群を含む)	男性 219,900人 (H27年度) 女性 197,500人 (H27年度)	237,400人 (R3年度) 199,200人 (R3年度)	153,000人 (R5年度) 135,100人 (R5年度)
②75歳未満の脳血管疾患による年齢調整死亡率	男性 22.2 (H27年) 女性 11.5 (H27年)	15.2 (R3年) 7.1 (R3年)	17.3以下 (R5年) 9.1以下 (R5年)
③医療連携への参加機関数	581機関 (H28年度)	496機関 (R4年度)	現状維持 (R5年度)
④t-PAIによる脳血栓溶解療法実施可能機関数	36機関 (H28年度)	28機関 (R4年度)	現状維持 (R5年度)

(注)40～74歳の高血圧症有病者数の現状値は特定健康診査データからの推計値

3 心筋梗塞に関する目標

県保健医療計画の目標項目	県		
	計画策定時の値	現状値	目標値(達成時期)
①40～74歳の脂質異常症有病者数(予備群を含む)	男性 137,200人 (H27年度) 女性 107,600人 (H27年度)	170,600人 (R3年度)※1 186,500人 (R3年度)※1	77,800人 (R5年度) 65,700人 (R5年度)
②75歳未満の虚血性心疾患による年齢調整死亡率	男性 14.6 (H27年) 女性 4.4 (H27年)	17.3 (R3年) 3.6 (R3年)	14.6以下 (R5年) 3.2以下 (R5年)
③医療連携への参加機関数	554機関 (H28年度)	509機関 (R4年度)	現状維持 (R5年度)
④経皮的冠動脈形成術実施可能機関数	22機関 (H28年度)	20機関 (R4年度)	現状維持 (R5年度)

(注)40～74歳の脂質異常症有病者数の現状値は特定健康診査データからの推計値 ※1 計画策定時と積算方法が異なる。

4 糖尿病に関する目標

県保健医療計画の目標項目	県		
	計画策定時の値	現状値	目標値(達成時期)
①40～74歳の糖尿病有病者数(予備群を含む)	男性 141,800人 (H27年度) 女性 99,700人 (H27年度)	264,900人 (R3年度)※2 184,900人 (R3年度)※2	111,000人 (R5年度) 99,700人 (R5年度)
②医療連携への参加機関数	591機関 (H28年度)	590機関 (R4年度)	現状維持 (R5年度)
③糖尿病による新規透析導入患者数(人口10万人対)	15.3 (H27年)	14.3 (R3年)	13.3 (R5年度)

(注)40～74歳の糖尿病有病者数の現状値は特定健康診査データからの推計値 ※2 現状値については、特定健康診査データからの推計値。また、計画策定時と積算方法が異なる。

【参考】特定健康診査・特定保健指導に関する目標(目標項目2～4に関連)

県保健医療計画の目標項目	県		
	計画策定時の値	現状値	目標値(達成時期)
①特定健康診査実施率	48.3% (H27年度)	52.0% (R3年度)	70%以上 (R5年度)
②特定保健指導実施率	24.1% (H27年度)	25.9% (R3年度)	45%以上 (R5年度)

5 精神疾患に関する目標

県保健医療計画の目標項目	県		
	計画策定時の値	現状値	目標値(達成時期)
①自殺死亡率(人口10万人対)	19.0 (H27年)	20.3 (概数) (R4年)	14.9以下 (R5年)
②認知症疾患医療センターの整備	9施設 (H28年度)	12施設 (R4年)	12施設 (R5年度末)
③精神病床における慢性期入院需要(65歳以上患者数)	3,616人 (H28年度)	3,763人 (R4年度)	2,959人 (R5年度末)
④精神病床における慢性期入院需要(65歳未満患者数)	2,235人 (H28年度)	1,528人 (R4年度)	1,364人 (R5年度末)

奄美圏域の現状・課題等

圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状(計画策定時) 奄美保健医療圏	直近の現状	
		圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状 奄美保健医療圏
SMR(標準化死亡率)(H24～28年)		SMR(標準化死亡率)～(H29年～R3年)	
93.4	103.7	96.7	106.8
95.2	93.3	94.6	88.6
市町村のがん検診受診率(H28年度)		市町村のがん検診受診率(R3年度)	
5.8%	11.1%	4.2%	7.6%
10.1%	17.9%	7.8%	13.8%
9.6%	15.2%	7.8%	12.5%
14.4%	28.5%	13.3%	20.6%
23.1%	40.6%	20.7%	33.0%

【圏域における評価・今後の課題等】
 ・圏域の悪性新生物SMR (H29年～R3年)は、男性は国より有意に高く、県よりも高い。女性は国より有意に低く、県よりも低い。
 ・R3年度市町村のがん検診受診率は、計画策定時より全て低下しているが、全て県よりも高い。がん検診受診率の低下は、新型コロナウイルス感染症対策による影響が大きいと考える。
 ・がんの早期発見・早期治療につなげるためにも、検診受診率や精密検査受診率向上に向けて、国民健康保険事業等を含む市町村保健事業の機会を活用しながら取り組む必要がある。
 ・引き続き、健康かごしま21地域推進協議会の場を活用しながら、がんの発症予防に取り組む必要がある。

圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状(計画策定時) 奄美保健医療圏	直近の現状	
		圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状 奄美保健医療圏
40～74歳の高血圧症有病者出現率(市町村国保)(H28年度)		40～74歳の高血圧症有病者出現率(市町村国保)(R3年度)	
40.8%	41.8%	44.4%	46.1%
SMR(標準化死亡率)(H24～28年)		SMR(標準化死亡率)～(H29年～R3年)	
107.2	140.3	110.3	119.1
112.7	111.9	113.6	126.0
581機関(H28年度)	49機関(H28年度)	496機関(R4年度)	42機関(R4年度)
36機関(H28年度)	2機関(H28年度)	28機関(R4年度)	3機関(R4年度)

【圏域における評価・今後の課題等】
 ・R3年度の高血圧症有病者出現率は、計画策定時に比べ増加し、県と比較しても高い値である。
 ・圏域の脳血管疾患SMR (H29年～R3年)は、男女ともに国より有意に高く、県よりも高い。
 ・脳卒中に係る医療連携体制については、医療連携への参加機関数が49機関から42機関に減少した。また、脳血栓溶解療法実施可能機関数が3機関と限られていることから、ドクターヘリや自衛隊ヘリによる島外への搬送を含め、急性期治療体制充実が求められる。
 ・引き続き、健康かごしま21地域推進協議会の場や国民健康保険事業等を含む市町村保健事業の機会を活用しながら、脳血管疾患の発症予防・重症化予防を目指し、脳卒中対策推進に取り組む必要がある。

圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状(計画策定時) 奄美保健医療圏	直近の現状	
		圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状 奄美保健医療圏
40～74歳の脂質異常症有病者出現率(市町村国保)(H28年度)		40～74歳の脂質異常症有病者出現率(市町村国保)(R3年度)	
22.9%	19.9%	28.5%	25.0%
急性心筋梗塞SMR(標準化死亡率)(H24～28年)		急性心筋梗塞SMR(標準化死亡率)(H29年～R3年)	
113.5	129.4	134.3	128.7
128.8	119.0	145.8	151.5
554機関(H28年度)	45機関(H28年度)	509機関(R4年度)	40機関(R4年度)
22機関(H28年度)	2機関(H28年度)	20機関(R4年度)	2機関(R4年度)

【圏域における評価・今後の課題等】
 ・R3年度の脂質異常症有病者出現率は、計画策定時に比べ増加しているが、県と比較すると低い値である。
 ・圏域の急性心筋梗塞SMR (H29年～R3年)は、男性は国より有意に高く、県よりも低い。女性は国より有意に高く、県よりも高い。
 ・急性心筋梗塞に係る医療連携体制については、医療連携への参加機関数が45機関から40機関に減少した。また、経皮的冠動脈形成術実施可能機関数が2機関と限られていることから、ドクターヘリや自衛隊ヘリによる島外への搬送を含め、急性期治療体制充実が求められる。
 ・引き続き、健康かごしま21地域推進協議会の場や国民健康保険事業等を含む市町村保健事業の機会を活用しながら、急性心筋梗塞の発症予防・重症化予防に取り組む必要がある。

圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状(計画策定時) 奄美保健医療圏	直近の現状	
		圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状 奄美保健医療圏
40～74歳の糖尿病有病者出現率(市町村国保)(H28年度)		40～74歳の糖尿病有病者出現率(市町村国保)(R3年度)	
9.8%	9.3%	11.7%	11.1%
591機関(H28年度)	48機関(H28年度)	590機関(R4年度)	45機関(R4年度)
糖尿病性腎症による新規透析導入患者数(市町村国保:被保険者10万対)(H29年度)		糖尿病性腎症による新規透析導入患者数(市町村国保:被保険者10万対)(R3年度)	
29.5	27.0	30.6	48.0

【圏域における評価・今後の課題等】
 ・R3年度の糖尿病有病者出現率は、計画策定時に比べ増加しているが、県と比較すると低い値である。
 ・糖尿病性腎症による新規透析導入患者数(市町村国保)は、計画策定時より増加し、県よりも高い。
 ・特定健康診査実施率は計画策定時は県平均より下回っていたが、R3年度では県平均と同程度である。しかし、第3期特定健康診査等実施計画の目標値(60%以上)に達していない。
 ・特定保健指導実施率は計画策定時に比べ増加し、県平均を上回っていたが、第3期特定健康診査等実施計画の目標値(60%以上)に達していない。
 ・引き続き、健康かごしま21地域推進協議会の場や国民健康保険事業等を含む市町村保健事業の機会を活用しながら、糖尿病の発症予防・重症化予防に取り組む必要がある。

圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状(計画策定時) 奄美保健医療圏	直近の現状	
		圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状 奄美保健医療圏
特定健康診査・保健指導実施率(市町村国保)(H28年度)		特定健康診査・保健指導実施率(市町村国保)(R3年度)	
42.9%	41.8%	43.1%	43.2%
46.0%	40.6%	45.0%	48.0%

圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状(計画策定時) 奄美保健医療圏	直近の現状	
		圏域との比較に用いた県の現状値	圏域の現状 奄美保健医療圏
18.9 (H27年)	30.9 (H27年)	20.2 (R4年)	34.5 (R4年度)
9施設 (H28年度)	1施設 (H28年)	12施設 (R4年)	1施設 (R4年度)
3,616人 (H28年度)	180 (H28年)	3,763人 (R4年度)	220 (R4年度)
2,235人 (H28年度)	258 (H28年)	1,528人 (R4年度)	133 (R4年度)

【圏域における評価・今後の課題等】
 ・圏域の自殺死亡率は、計画策定時と比べて増加しており、県よりも高い。
 ・圏域内でも自殺死亡率に差がみられ、精神科医療機関がない離島もあり、必要な医療に結びつきにくい現状がある。自殺対策計画に基づき地域の特性に応じた自殺対策の強化を図る必要がある。
 ・R4年の精神病床における慢性期入院需要における65歳以上患者数は、H28年に比べ増加しているが65歳未満患者数においては減少している。
 ・圏域内では、福祉資源が偏在し、地域移行・地域定着が進まない現状があるため、入院早期から関係機関が連携し、地域移行・地域定着推進会議を開催し、精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいく必要がある。